

社会保障分野における安全で利便性の高い情報連携が 地域住民にもたらす効果に関する検証成果について

～ 社会保障カード（仮称）の制度設計に向けた実証事業 ～

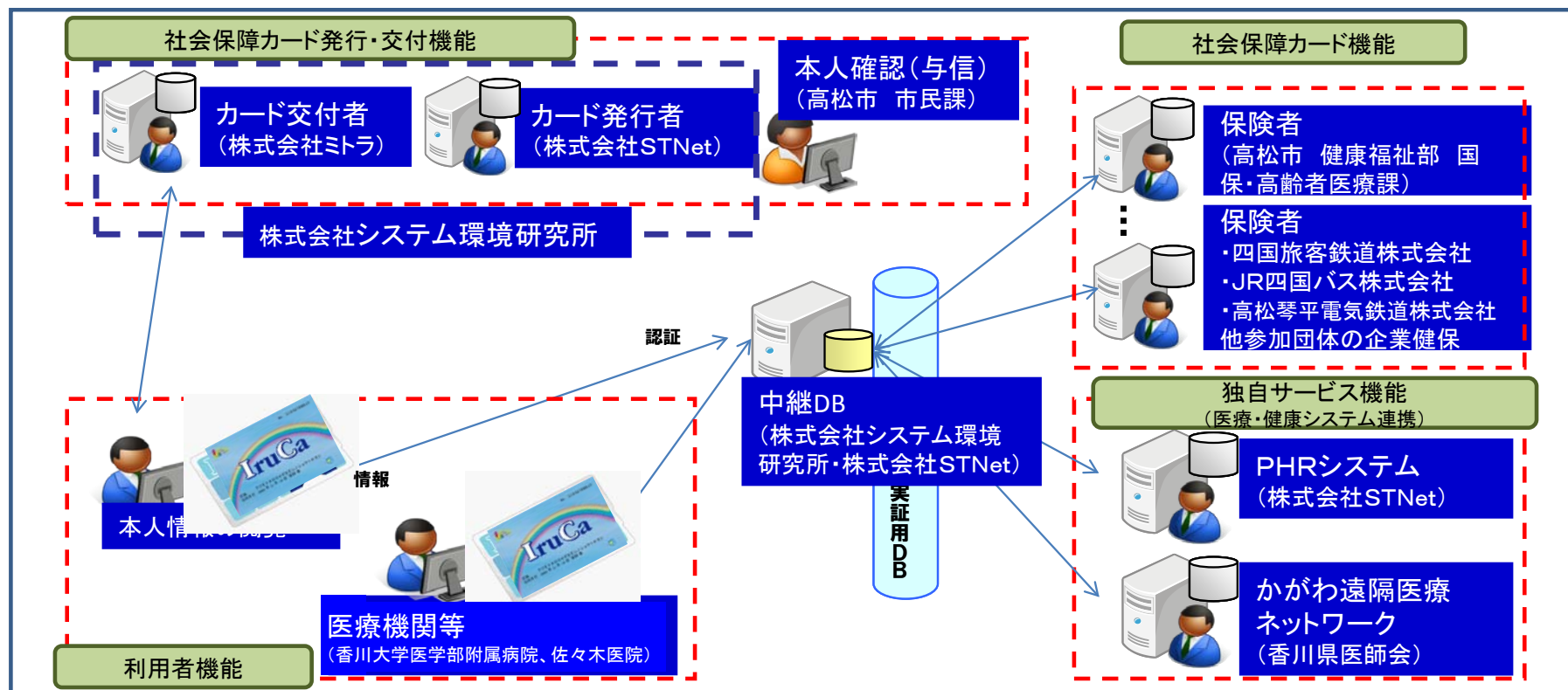
平成22年8月31日
かがわSSCコンソーシアム

1) 実証の概要（実証目的、事業イメージ）

<実証事業の目的>

- ・ 身近な交通系ICカードを使った安全な認証システムの実現
- ・ 中継データベースの運用の有効性と健保・国保の加入情報や医療情報記録、健康診断結果などのバックオフィス連携の実現
- ・ 既存のK-MIX、PHRシステムへのシングルサインオンの実現

利用者にとっては、安心・安全な環境下で、様々な機関に点在する利用者自身の情報を自宅にしながらパソコンで容易に確認できる仕組みづくりを目指しました。



2) 実証フィールドの特徴と制度設計に対する役割 ①



- 人口：424,245人(H22.4)
- 住基カード発行枚数：21,567枚(H22.4)

交通系ICカード(Type C)による
社会保障カード(仮称)基盤構築

① 交通系カードによる既存社会インフラ

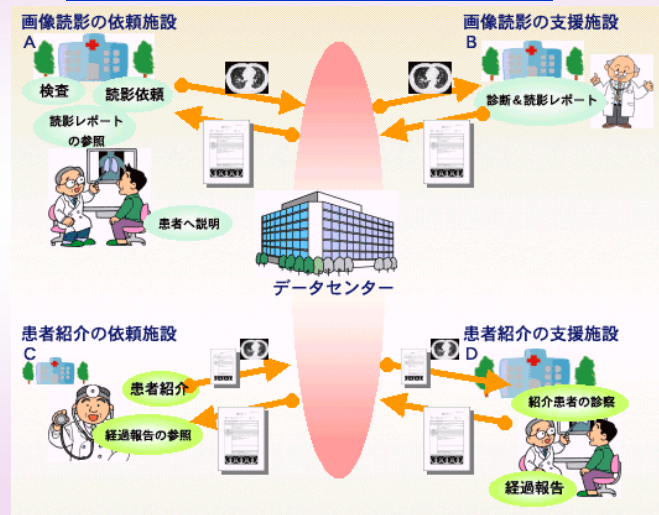


- ことடன்IruCaカード発行枚数：177千枚(H22.3)
- 乗車(鉄道)でのカード利用率の8割を超える
- 電子マネーインフラ: 商店、駐車場、各種決済
- 香川大学学生証・職員証／高松市職員証／eヘルスケアバンク

身近な交通系ICカードを使つての信頼性確保

② 先進IT”医療“コンテンツの充実

～かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)、
かがわeヘルスケアバンク(PHR実証事業)

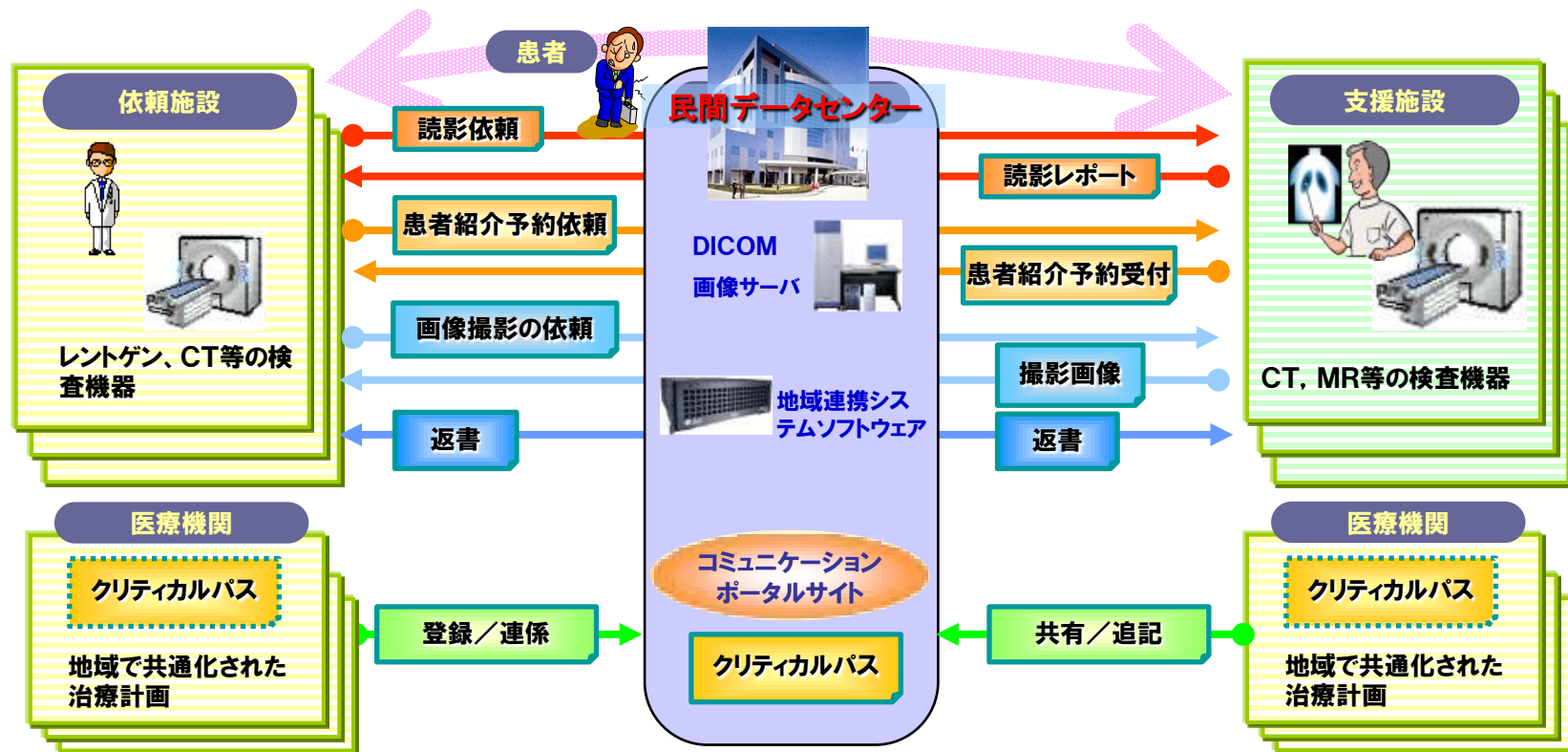


各種コンテンツのワンストップサービス化

2) 実証フィールドの特徴と制度設計に対する役割 ②

K-MIX: かがわ遠隔医療ネットワーク:

共通のセンターサーバやネットワークプログラム、運用ルール等を整備し、**民間のデータセンター**を利用した**全国で初めてのオープンで利用しやすい医療連携システム**として、稼動しております。



①画像読影機能

自院で撮影した放射線画像等や患者の症例について専門医に相談をすることができます。

②患者紹介機能

電子的に診療情報提供書を送信することができます。

③画像撮影依頼機能

高度医療機器 (MDCT、MRI、PET等) を保有していない施設が、他の保有施設に撮影依頼を行うことができます。

④医療情報連携機能

処置内容、紹介患者の経過報告等の医療情報 (動画・音声情報も添付可能) を施設の間でやりとりできます。

⑤地域連携パス共有機能

センターに登録した治療計画を医療機関間で共有し、急性期・回復期・維持期への情報伝達ができます。

2) 実証フィールドの特徴と制度設計に対する役割 ③

多くの医療機関で利用されている信頼性の高い情報基盤

K-MIX参加医療機関の現状(90施設:平成22年8月1日現在)

県外医療機関

- 中林病院 (兵庫県)
 - 岡山大学病院 (岡山県)
 - 岡山画像診断センター (岡山県)
 - 岡田クリニック (広島県)
 - 那覇西クリニックまかび (沖縄県)
 - 浦添総合病院(沖縄県)
 - 阪神北広域こども急病センター (兵庫県)
 - 国際貢献大学メディカルクリニック (岡山県)
 - ロクト整形外科クリニック (沖縄県)
 - 岡山済生会総合病院 (岡山県)
 - 佐藤胃腸科外科病院 (岡山県)
- (計11機関)

三豊保健医療圏

- 石川医院
 - 岩崎病院
 - 小野医院
 - 香川井下病院
 - 松井病院
 - みずた内科
 - 三豊市立永康病院
 - 三豊市立西香川病院
 - 三豊総合病院
- (計9機関)

中讃保健医療圏

- 赤沢病院
 - 綾上診療所
 - 石川整形外科クリニック
 - 岩佐病院
 - 氏家内科医院
 - 宇多津クリニック
 - 香川労災病院
 - 永生病院
 - 回生病院
 - 加藤病院
 - 国重まこと医院
 - 坂出市立病院
 - 佐藤医院
 - しげのぶ医院
 - 陶病院
 - 坂出聖マルチン病院
 - 国立善通寺病院
 - 善通寺前田病院
 - 滝宮総合病院
 - 田村クリニック
 - つぎき内科クリニック
 - 永井整形外科
 - 西山脳神経外科病院
 - 番の州ハビネスクリニック
 - まえだ整形外科
 - 三木内科胃腸科医院
 - 宮野病院
 - 山本医院
- (計28機関)

小豆保健医療圏

- 町立内海病院
 - 外園医院
 - 土庄中央病院
- (計3機関)

大川保健医療圏

- 県立白鳥病院
 - 大石整形外科医院
 - 溝渕内科循環器クリニック
 - さぬき市民病院
- (計4機関)

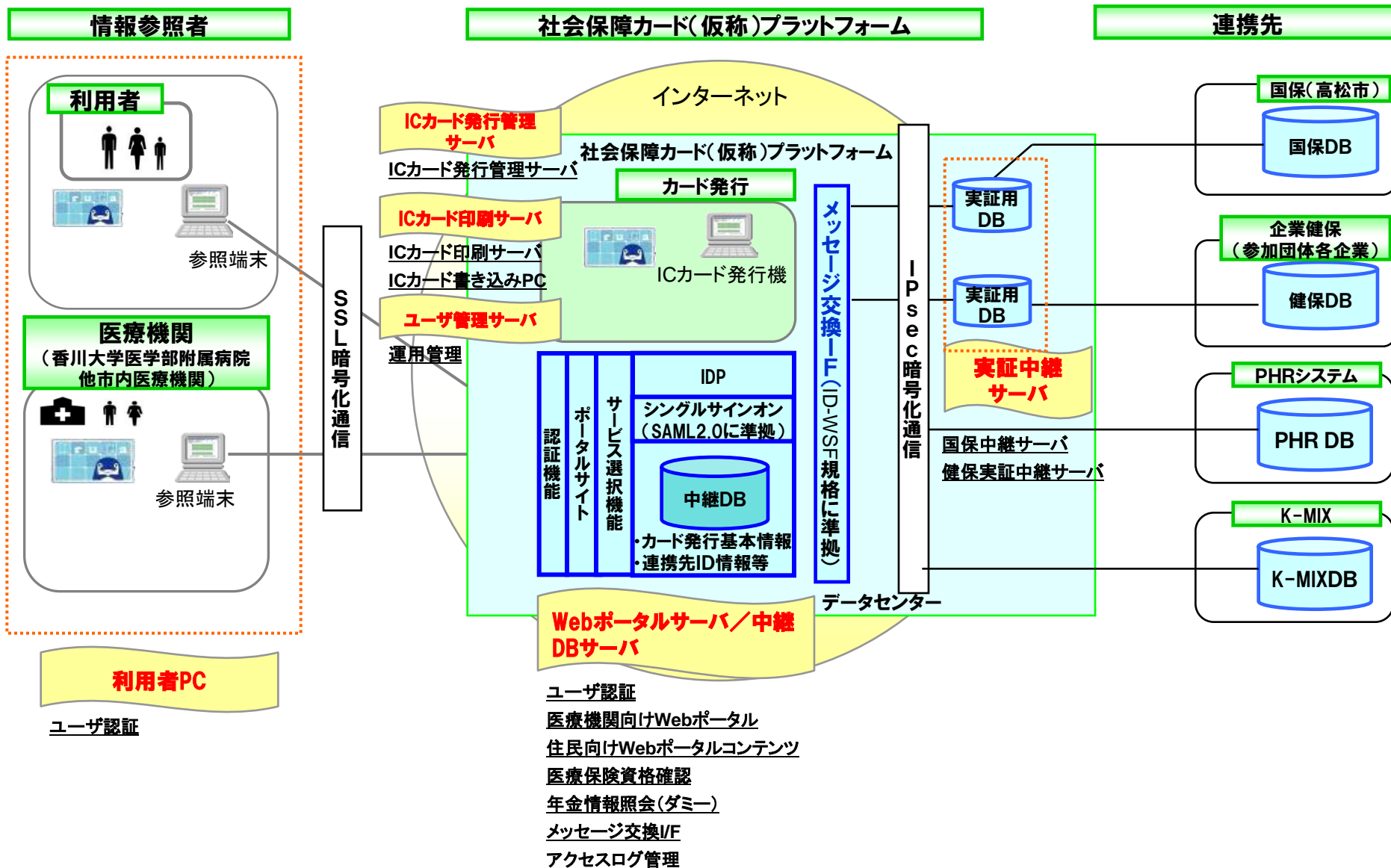
高松保健医療圏

- 阿部内科眼科医院
- 綾田医院
- イズミ医院
- N T T 高松診療所
- 香川県立がん検診センター
- 香川大学医学部附属病院
- かしむら内科医院
- 榎村病院
- かつが整形外科クリニック
- 川人外科内科
- 木太三宅病院
- キナシ大林病院
- 久米川病院
- 県立中央病院
- 小西耳鼻咽喉科医院
- 内科・消化器内科佐々木クリニック
- 佐藤クリニック
- セントラルパーククリニック
- 高畠病院
- 高松赤十字病院
- 高松市民病院

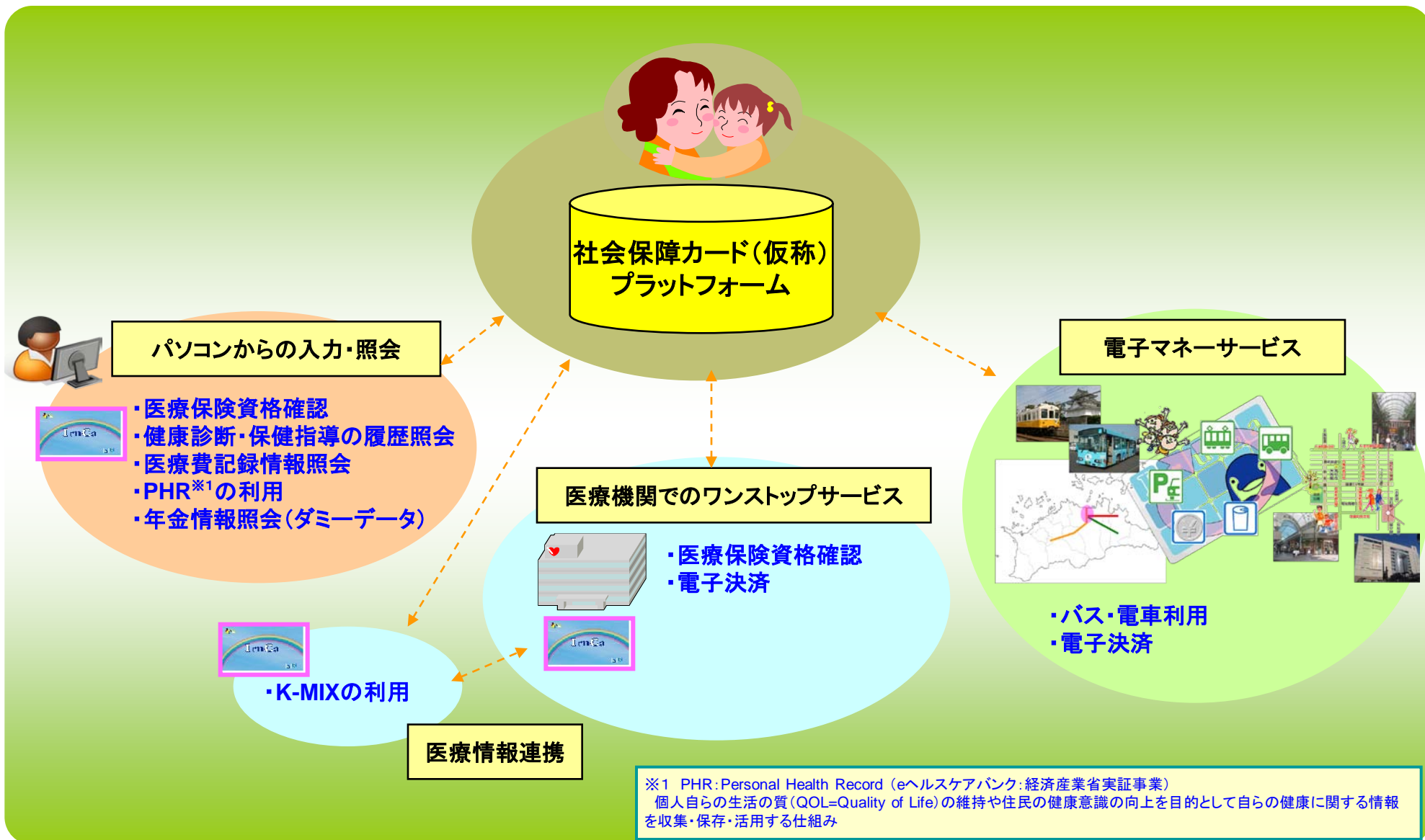
- 高松平和病院
- 伊達病院
- 谷本内科医院
- 田原内科医院
- 直島町立診療所
- 中空医院
- 西高松脳外科・内科クリニック
- ひがさクリニック
- 附属三宅リハビリテーション病院
- 附属陽子レディースクリニック
- 松原病院
- 山田医院
- 整形外科吉峰病院
- 栗林病院

(計35機関)

3) 実証用システムの構成と機能一覧



4) 本実証にて構築されたICカードによるワンストップサービス



5) 提供サービス内容① (自宅PC)

社会保障のより良いサービスを安心して利用できる
社会を実現するために。

文字サイズの変更: 小 中 大

お問い合せ よくあるご質問 規約・規定 個人情報保護方針

待景色の変更

トップ > メニュー

ようこそ
バス セイジ 様
【前回ログイン日】
平成22年03月05日

パスワード変更
サービスの利用履歴確認
かがわSSCカードナビ

ご利用ありがとうございます
ごさいます

LOGOUT

健康保険
国民健康保険の案内
加入情報を見る
医療費記録を見る
健康診断結果を見る

年金
年金定期便の案内
年金記録を見る

個人健康情報
ヘルスケアバンクへ

医療
かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)へ

関連情報
厚生労働省
日本年金機構
協会けんぽ
四国厚生支局

ポータル画面

医療保険資格

社会保障のより良いサービスを安心して利用できる
社会を実現するために。

お問い合せ よくあるご質問 規約・規定 個人情報保護方針

トップ > メニュー > 医療加入情報

ようこそ
バス セイジ 様
【前回ログイン日】
平成22年03月05日

パスワード変更
サービスの利用履歴確認
かがわSSCカードナビ

ご利用ありがとうございます
ごさいます

LOGOUT

国民健康保険
被保険者証
記号 香川11 番号 3000999

氏名 羽黒 聖司 性別 男
生年月日 平成12年 10月 10日
資格取得年月日 平成22年 02月 22日
免効期日 -
一部負担金の割合 3割

保険者番号 370015
保険者名 高松市国保
住居 香川県高松市番町日

平成22年03月20日現在

医療費

社会保障のより良いサービスを安心して利用できる
社会を実現するために。

お問い合せ よくあるご質問 規約・規定 個人情報保護方針

トップ > メニュー > 医療費確認

ようこそ
バス セイジ 様
【前回ログイン日】
平成22年03月05日

パスワード変更
サービスの利用履歴確認
かがわSSCカードナビ

ご利用ありがとうございます
ごさいます

LOGOUT

医療費確認
高松市国保
保険証記号・番号 香川11-3000999

診療年月	診療区分	医療機関名	医療費総額	窓口支払額
平22.02	眼科・外来	星島総合病院	12,830円	-円
平22.02	眼科・外来	高松市民病院	5,455円	-円

平成22年03月20日現在

年金記録(ダミー)

社会保障のより良いサービスを安心して利用できる
社会を実現するために。

お問い合せ よくあるご質問 規約・規定 個人情報保護方針

トップ > メニュー > 年金情報 > 納付状況

ようこそ
バス セイジ 様
【前回ログイン日】
平成22年03月05日

パスワード変更
サービスの利用履歴確認
かがわSSCカードナビ

ご利用ありがとうございます
ごさいます

LOGOUT

■保険料・年金の納付状況
基礎年金番号 9999-999999
注)この画面は、本実証事業用のイメージです。

年度	制度名称	区分	月別納付状況(月分)					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月
9256	国民年金	納付区分	納付	納付	納付	納付	納付	納付
9256	国民年金	納付額	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
9257	国民年金	納付区分	納付	納付	納付	納付	納付	納付
9257	国民年金	納付額	5,220	5,220	5,220	5,220	5,220	5,220
9258	国民年金	納付区分	納付	納付	納付	納付	納付	納付
9258	国民年金	納付額	5,830	5,830	5,830	5,830	5,830	5,830
9259	国民年金	納付区分	納付	納付	納付	納付	納付	納付
9259	国民年金	納付額	6,220	6,220	6,220	6,220	6,220	6,220
9260	国民年金	納付区分	納付	納付	納付	納付	納付	納付
9260	国民年金	納付額	6,740	6,740	6,740	6,740	6,740	6,740
9261	国民年金	納付区分	納付	納付	納付	納付	納付	納付

健康診断結果

社会保障のより良いサービスを安心して利用できる
社会を実現するために。

お問い合せ よくあるご質問 規約・規定 個人情報保護方針

トップ > メニュー > 健康診断結果照会

ようこそ
バス セイジ 様
【前回ログイン日】
平成22年03月05日

パスワード変更
サービスの利用履歴確認
かがわSSCカードナビ

ご利用ありがとうございます
ごさいます

LOGOUT

健康診断結果照会
全国健康保険協会 香川支部
保険証記号・番号 14422412-00051

平成22年03月05日現在

次へ	受診日	平22.03.05	平21.05.12	平20.06.05
健診機関			瀬戸クリニック	瀬戸クリニック
身長(cm)		172.2	172.2	171.9
体重(kg)		63.9	63.9	60.1
体脂肪率(%)		34.2	34.2	33.8
BMI				
視力	右 左			
矯正	右 左			
聴力	右 左			
聴覚	右 左			

■BMIグラフ

■コレステロールグラフ

■血圧グラフ

健康診断結果詳細
総合判定

メタボチェック

5) 提供サービス内容② (医療機関)

医療保険資格確認

電子決済

① A病院



受付



医療保険資格確認端末



電子決済端末

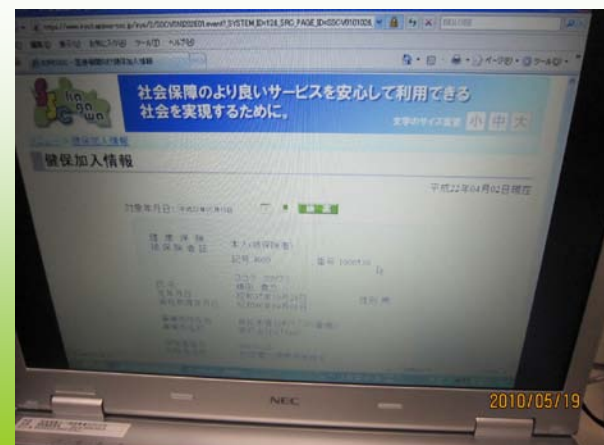
② B病院



2010/05/19



2010/05/19

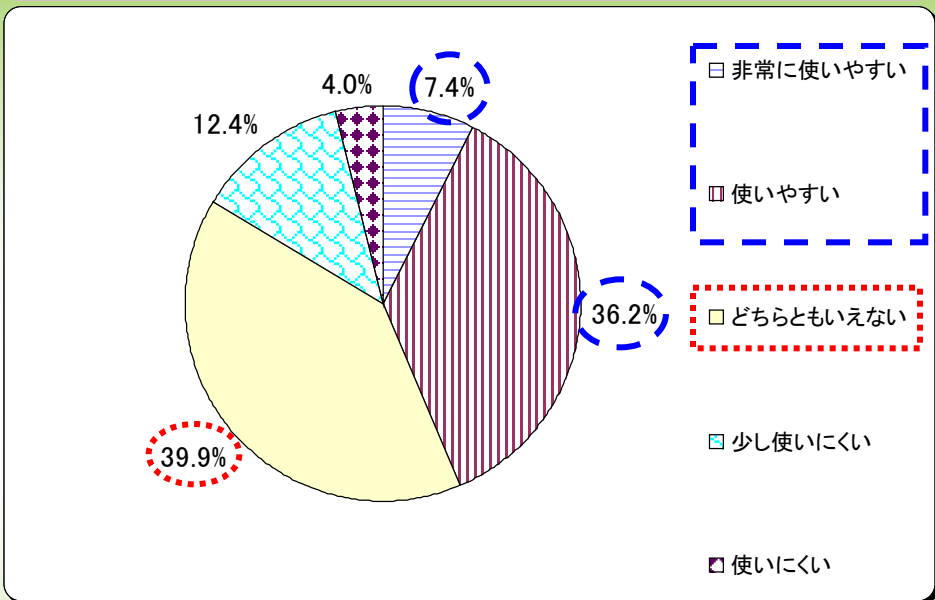


2010/05/19

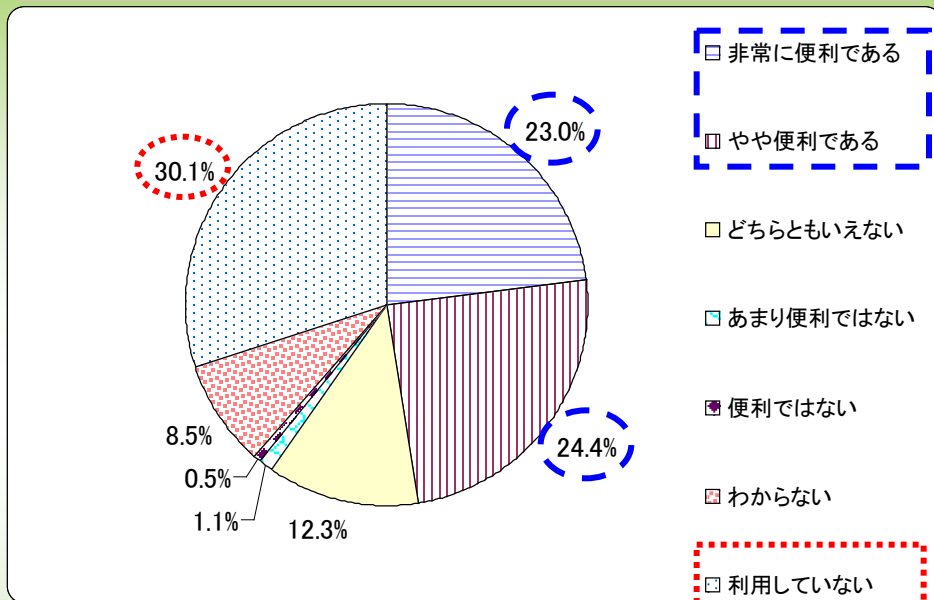
1) 本実証におけるシステム、各閲覧サービスの利便性(アンケート結果①)

※ 参加者のご意見

① かがわSSCカード、カードリーダー、パソコンを使用してホームページへのアクセス等の全体を通じての**システムの使いやすさ**はどうでしたか？ (n=366人)



② 参加医療機関窓口での**医療保険資格確認サービス**は便利だと思えましたか？ (n=366人)



システム全体の使いやすさについては、「非常に使いやすい」「使いやすい」が**43.6%**とある程度評価されているものの、「どちらともいえない」が**39.9%**と最も高く、更に「少し使いにくい」「使いにくい」が**16.4%**となっており、システム面・運用面で今後更なる**改善が必要であると考えます**。

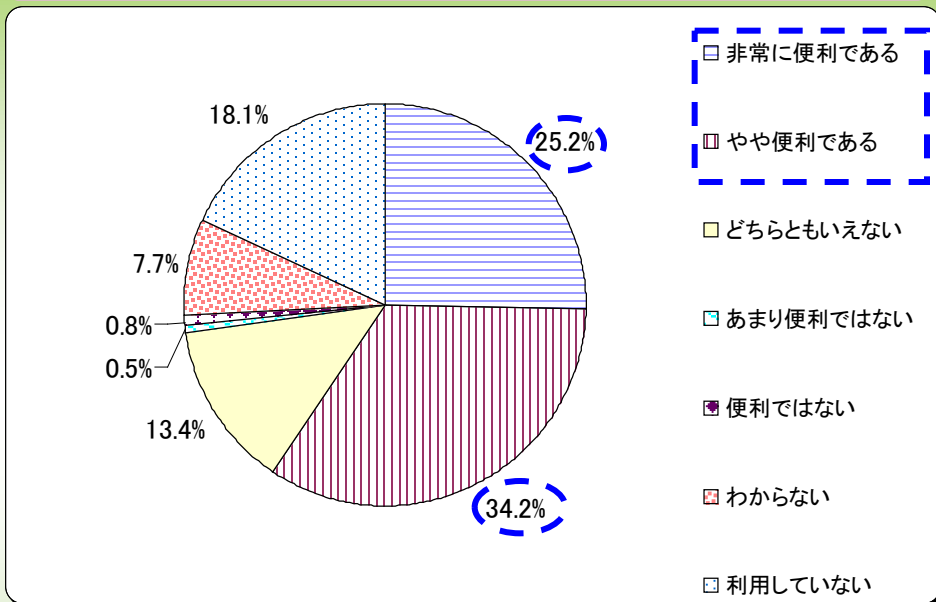
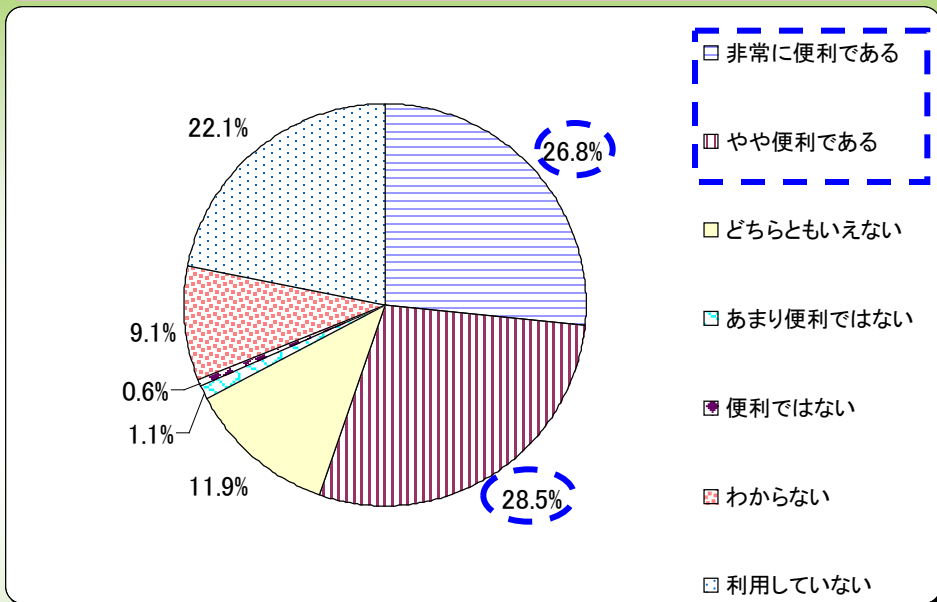
医療機関での医療保険資格確認サービスについては、「非常に便利である」「便利である」で**47.4%**と**半数に近い方が便利であると考えています**。また、利用していないという**30.1%**の方々も実際に利用されることで利便性を感じてい頂ける可能性があると考えます。

2) 各閲覧サービスの利便性(アンケート結果②)

※ 参加者のご意見

① 年金情報閲覧サービス(ダミーデータ参照)は便利だと思いましたが？ (n=366人)

② 自宅PCでの医療保険資格確認サービスは便利だと思いましたが？ (n=366人)



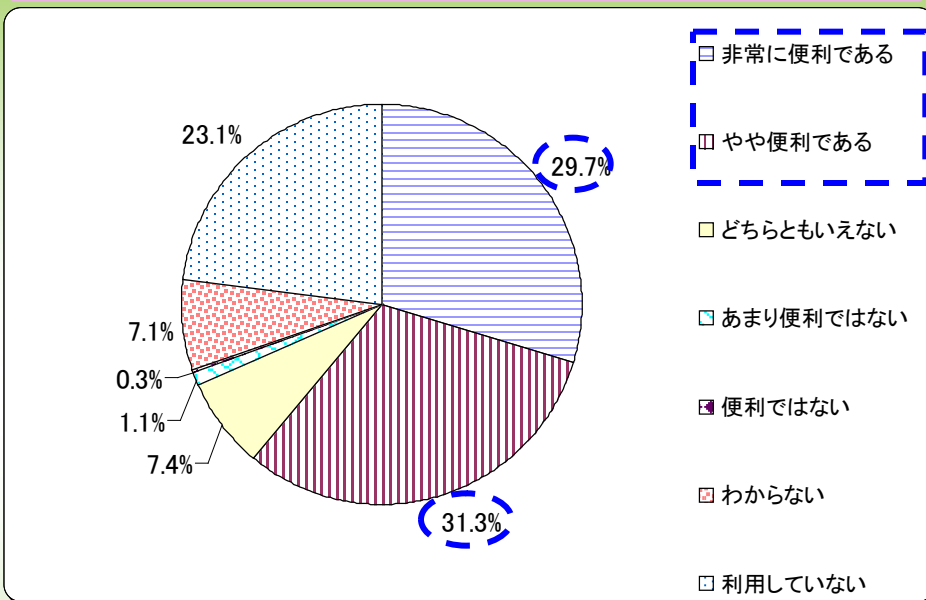
年金情報閲覧については、「非常に便利である」「やや便利である」が55.3%と過半数の人が利便性を感じられており、社会保障基盤としては必須のサービスコンテンツであると考えます。

自宅PCでの医療保険資格確認サービスについては、「非常に便利である」「便利である」で59.4%と過半数の方が便利であると考えています。よって社会保障基盤としては本サービスも必須のコンテンツであると考えます。

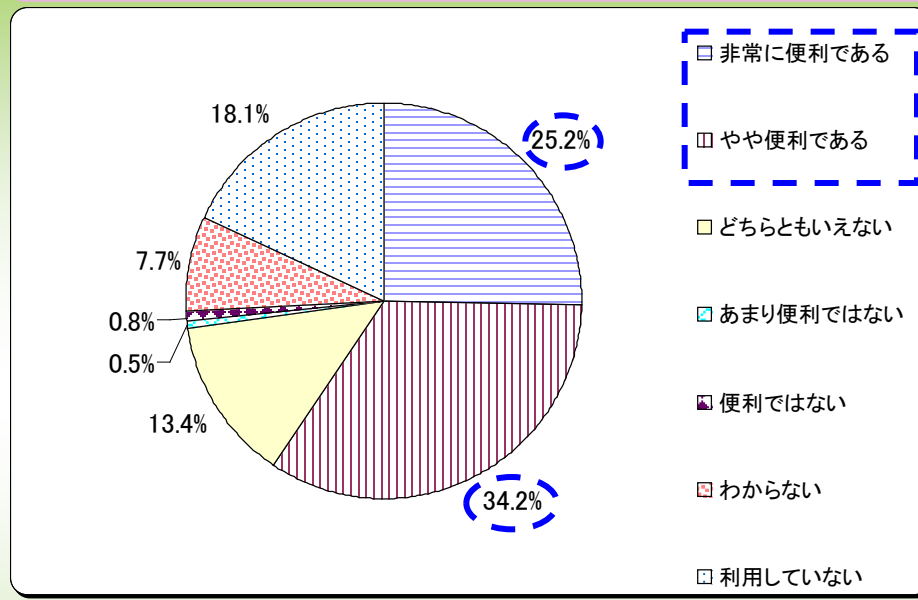
3) 各閲覧サービスの利便性(アンケート結果③)

※ 参加者のご意見

① 医療費記録情報閲覧サービスは便利だと思いましたか？
(n=366人)



② 健康診断結果履歴閲覧サービスは便利だと思いましたか？
(n=366人)



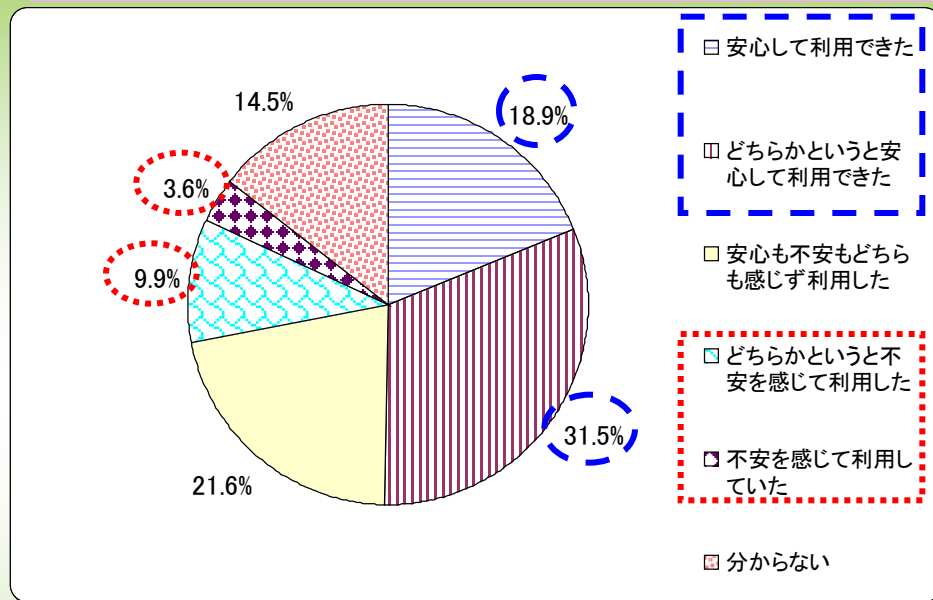
医療費記録情報閲覧については、「非常に便利である」「やや便利である」が61.0%と過半数の人が利便性を感じられており、社会保障基盤としては必須のサービスコンテンツであると考えます。

健康診断結果履歴閲覧サービスについては、「非常に便利である」「便利である」で59.4%と過半数の方が便利であると考えています。よって社会保障基盤としては本サービスも必須のコンテンツであると考えます。

4) システムの安全性について (アンケート結果④)

※ 参加者のご意見

① 今回のサービスを利用されたときにプライバシー保護についてどのように感じられましたか？
(n=366人)



※ 不参加者のご意見

今回の実証に参加されない理由は？ (n=133)

	票数
個人情報漏えいなどセキュリティが不安	65
PC操作が不安	40
面倒くさい	37
事業の内容がよく理解できない	26
その他	22
参加する環境がない	15
サービスに魅力がない	9
参加の方法がわからない	6

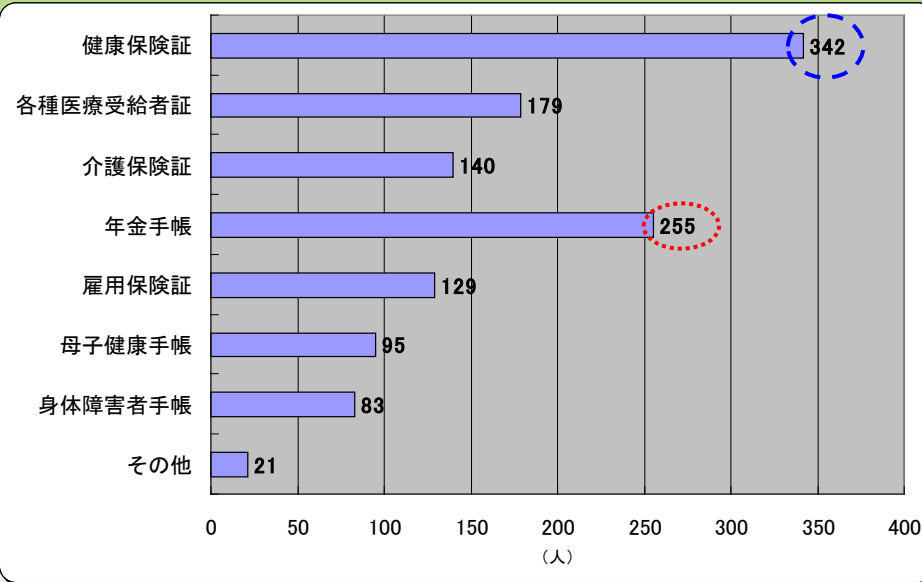
参加者のうち“プライバシー保護”について質問したところ、「**安心して利用できた**」「**どちらかというと安心して利用できた**」と答えた方が**50.4%**となっており、今回の実証の仕組みについての安全性はある程度の評価を得ていたものと考えます。また、実証期間中に個人情報の漏えいや、システムへの不正アクセスの報告はありませんでした。

但し、募集イベント時のアンケートにて実証に参加しないと回答された方々は、「**個人情報漏えいなどセキュリティが不安**」という意見が約半数で最も多く、**安全性についての周知方法の改善**などが今後の課題として上げられました。

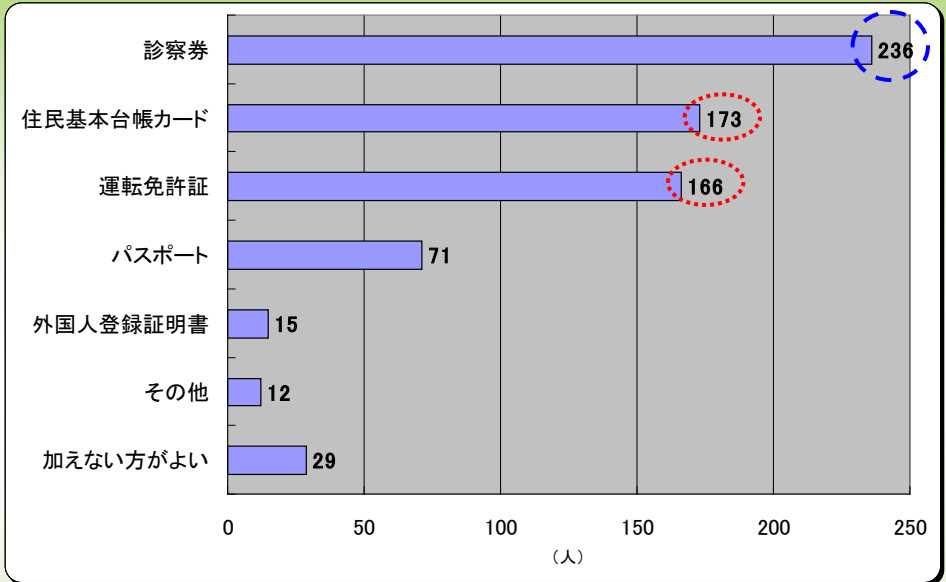
5) ワンストップサービスへの期待：資格証など(アンケート結果⑤)

※ 参加者のご意見

① どのようなものが1つのカードにまとまると便利に思いますか？(複数回答)
(n=366人)



② 複数の資格証がまとまったカードにさらにどのようなものを加えると便利に思いますか？(複数回答)(n=366人)



社会保障カード(仮称)の資格証等の機能としては、「健康保険証」と「診察券」という医療現場での活用が期待されていると考えられます。特に「診察券」については複数枚持つ煩わしさを解消するために、社会保障カード(仮称)で1枚にして欲しいというニーズが伺えました。

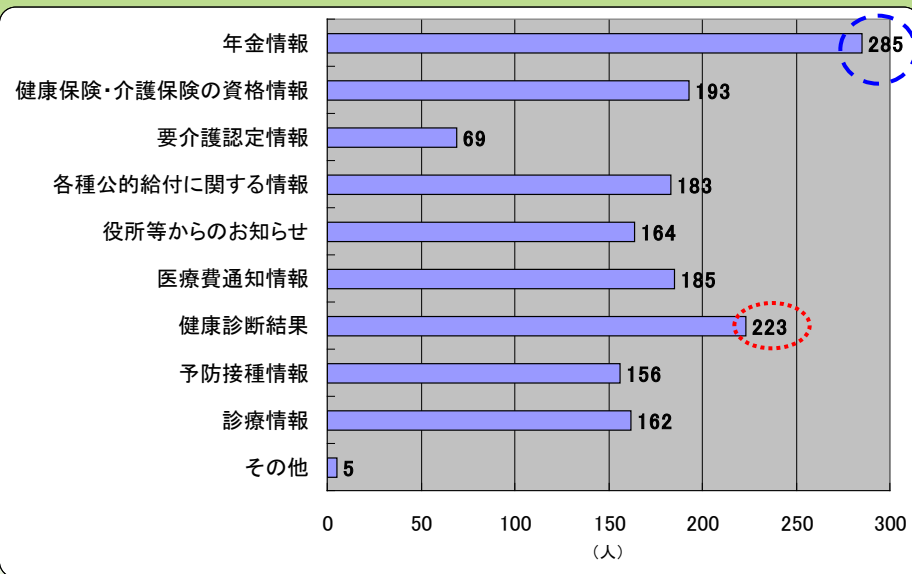
また、年金については、閲覧サービスだけでなく年金手帳も一枚のカードへの要望が高いようです。

別途、住基カードや運転免許証といった、既にIC化されたカードとの機能融合に対するニーズも伺えます。

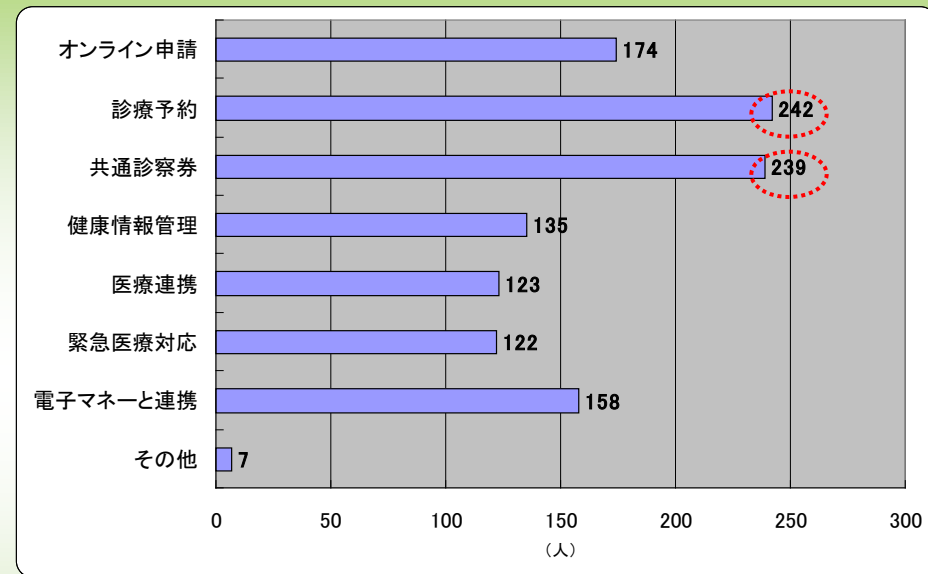
6) ワンストップサービスへの期待：各種サービス（アンケート結果⑥）

※ 参加者のご意見

① 社会保障に関するご自身の情報について、どのような情報を閲覧できるようになると良いと思いますか？（複数回答）
（n=366人）



② 社会保障に関するご自身の情報について、どのような情報を閲覧できるようになると良いと思いますか？（n=366人）



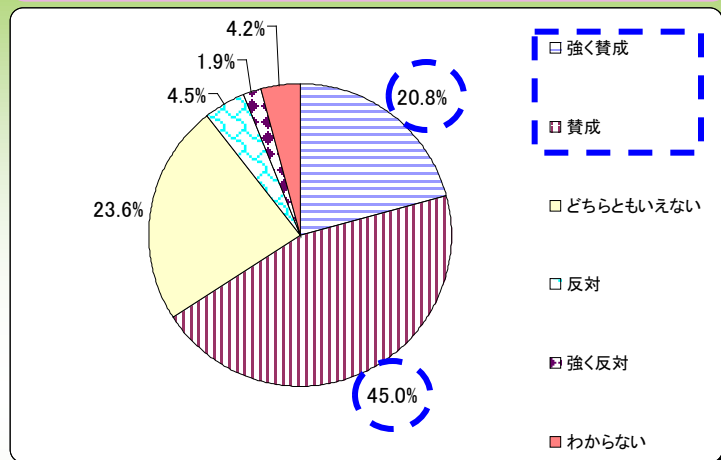
閲覧したい情報として「年金情報」が最も多く、関係者ヒアリングにおきましても「ダミーデータでなく実データの閲覧に期待していた」というご意見が多数上げられていました。

それ以外には「健康診断結果」「診療予約」「共通診察券」といった、サービス面でも日常の「医療」に関わる項目への利用ニーズが高いことが分かりました。

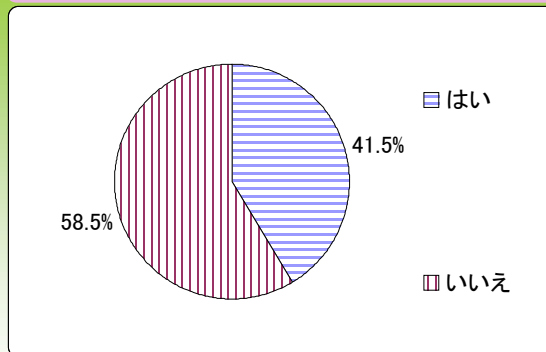
7) カードへの付加機能：電子マネー（アンケート結果⑦）

※ 参加者のご意見

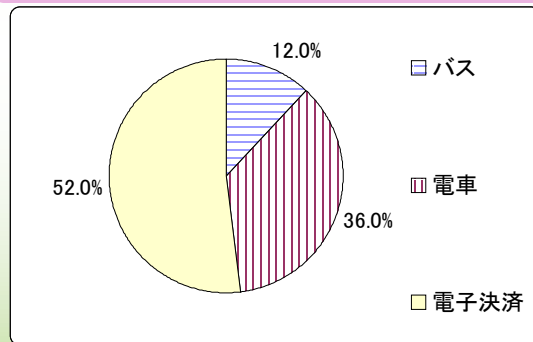
① 商用ICカードの機能(IruCa、電子マネー他)が付加されることについてどう思われますか？
(n=317人)



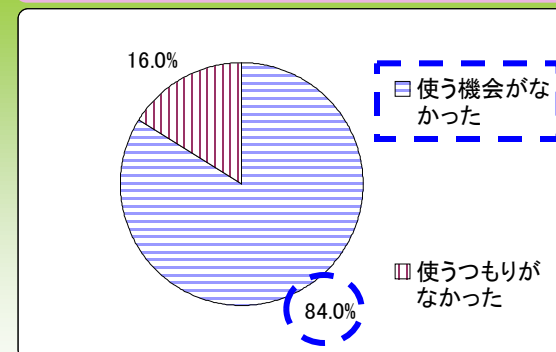
② 電子マネー機能を利用になりましたか？
(n=317人)



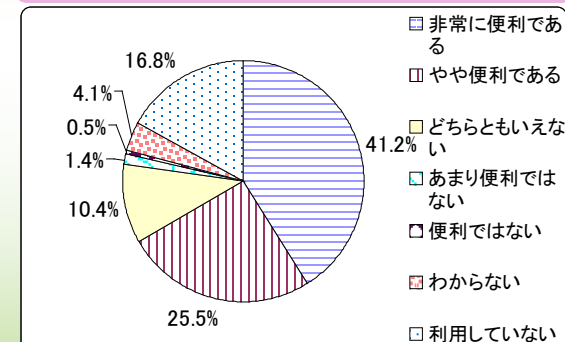
④ 電子マネー利用状況 (n=317人)



③ 電子マネー機能をなぜご利用にならなかったのですか？ (n=181人)



⑤ 電子マネー機能は便利だと思いましたか？
(n=317人)



社会保障カード(仮称)に電子マネー機能が付加されることについては、参加者の65.8%が賛成の意向でした。

また、電子マネーの利用率は41.5%でその用途はバス、電車の交通機関利用と電子決済が約半数ずつとなりました。

今回電子マネー機能を利用されなかった理由の84.0%が「使用する機会がなかった」となっており、**参加者の大多数が社会保障カード(仮称)であっても本機能が付加されれば、日常的に電子マネー用カードとして利用する意思があったものと推測されます。**

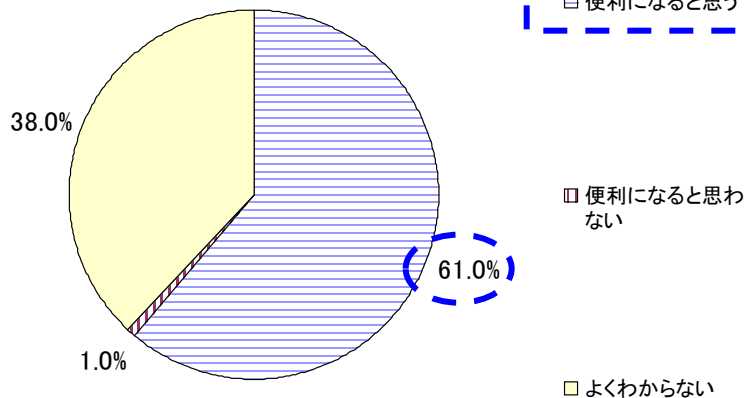
8) 利便性と今後の継続利用について (アンケート結果⑧)

※ 参加者のご意見

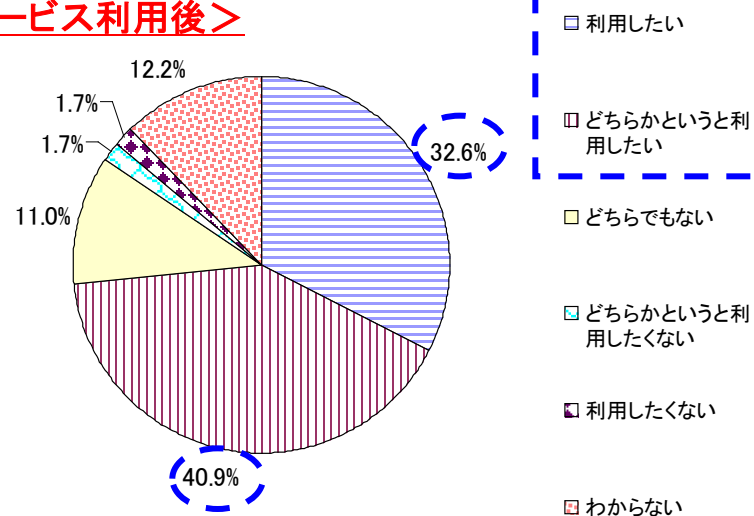
① 本事業についてどのように感じられましたか？ (n=366人)

② 今回利用されたサービスを今後も継続的に利用したいと思いましたが？ (n=366人)

<サービス利用前>



<サービス利用後>



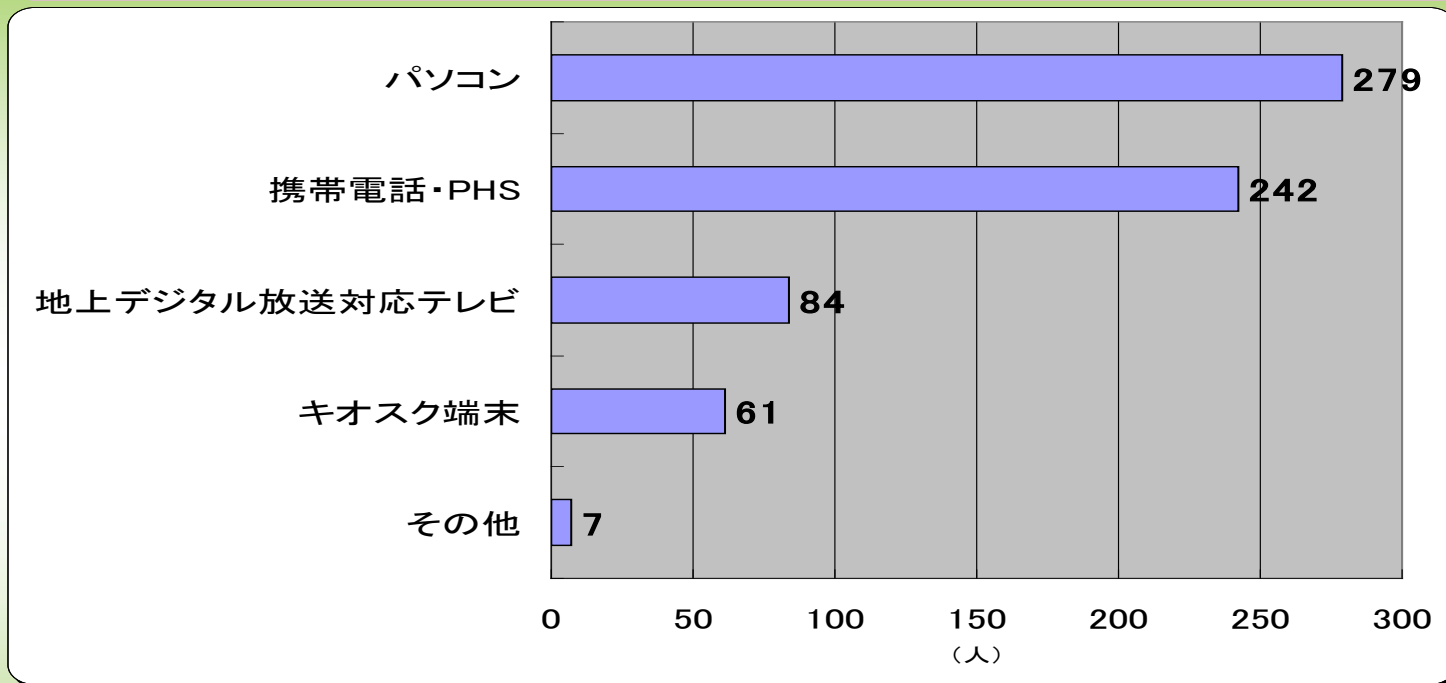
サービス利用前の本事業についての印象について、「便利になると思う」の61%に対して、サービス利用後は今後継続的に「どちらかという利用したい」以上が73.5%となっており、実際にサービスを利用したことでの利便性の認識度が向上したことも考えられます。

本制度の導入啓発に当たっては、実機によるデモンストレーションやサービスの利便性を具体的にイメージ出来るツールなどによるプロモーション活動が効果的と考えます。

9) サービス利用手段・媒体 (アンケート結果⑨)

※ 参加者のご意見

① 今後提供が期待されるサービスを利用する手段・媒体として望ましいのはどれですか？(複数回答)
(n=365人)



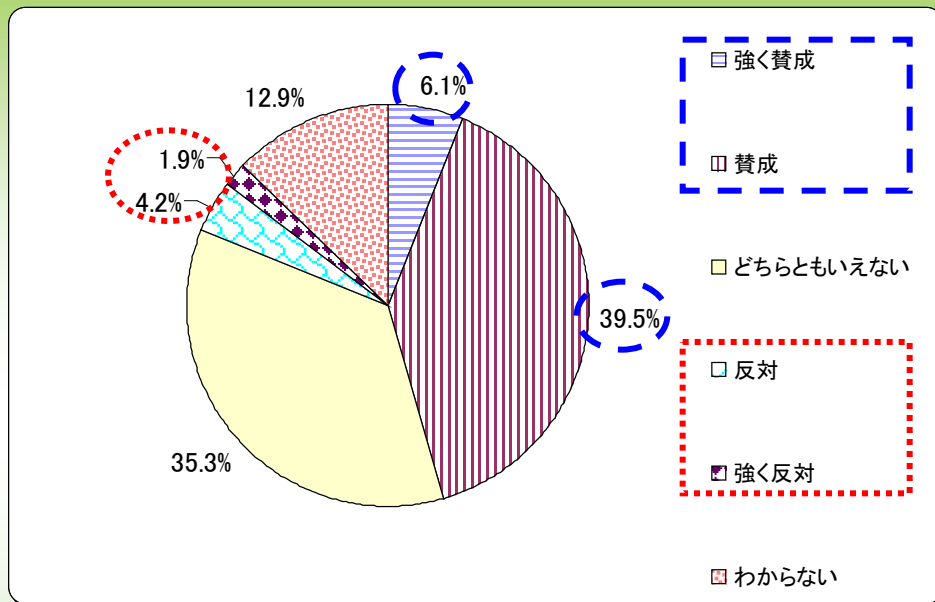
サービスを利用する手段・媒体として望ましいものとしては、**パソコン**が最も多くこれに次いで**携帯電話・PHS**というご意見が多くありました。**いつでもどこでも閲覧できるという身近なネット端末として、またその普及率を鑑みますと、これらのアクセス手段の検討も考慮すべきであると考えます。**

一方で地デジ対応テレビやキオスク端末の票が少ないのは、これらの媒体がまだ一般的ではなくあまり馴染みがないということが原因として考えられます。

1) システム構築や運用の最適化に向けて (アンケート結果⑩)

※ 参加者のご意見

国より委託された**第三者機関がカードの発行業務**を行うことについてどう思われますか？ (n=365人)



主要コメント:

- 個人情報心配
- コストダウンを行えるならば良いと思う。

業務の外部委託については「反対」「強く反対」を合わせて6.1%、逆に「強く賛成」「賛成」が45.6%となっており、ある程度抵抗感は少ないものと考えられます。

但し「どちらともいえない」も35.5%と多数を占めており、これらの人々への理解を得る為の方策も必要となります。

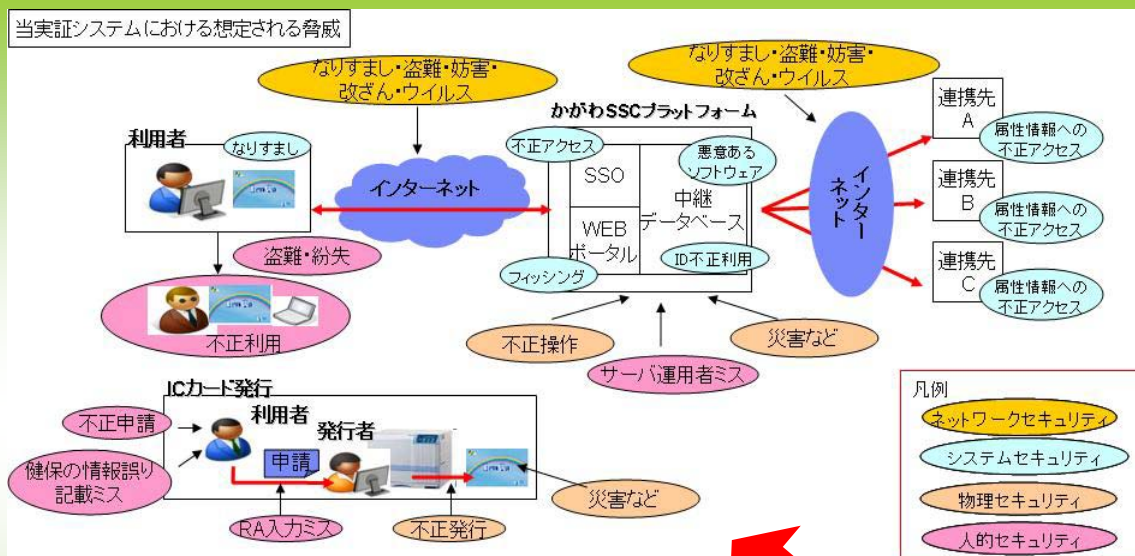
既に高松におきましては、K-MIXで民間データセンターの活用やシステム運用の外部委託が行われ、**医療従事者が安心・安全・便利にサービスを活用しています**。このように今日に至るまでのシステム構築・運用方法だけでなく、安全性のアピール方法などの**ノウハウも活用**が重要となってくると考えます。

2) システムの安全な運用に対する方策

利用者によるアクセス履歴確認の仕組みを設けることで、ある程度セキュリティに関する不安を払拭することは可能ですが十分ではありません。

仕組み全体の安全性を保証するには、i.セキュリティ・チェックシートによるシステム・運用面での安全性の確認、ii. 定期的な外部監査と是正措置の励行だけでなく、iii. これらが厳格に実施されていることを保証するための資格制度等を設けこれを広く告示することが有効であると考えます。

① 安全基準の制定と対策・是正の励行



「安全対策が〇〇に則り、キチンと実施されています」

iii 運営・監査状況の告示

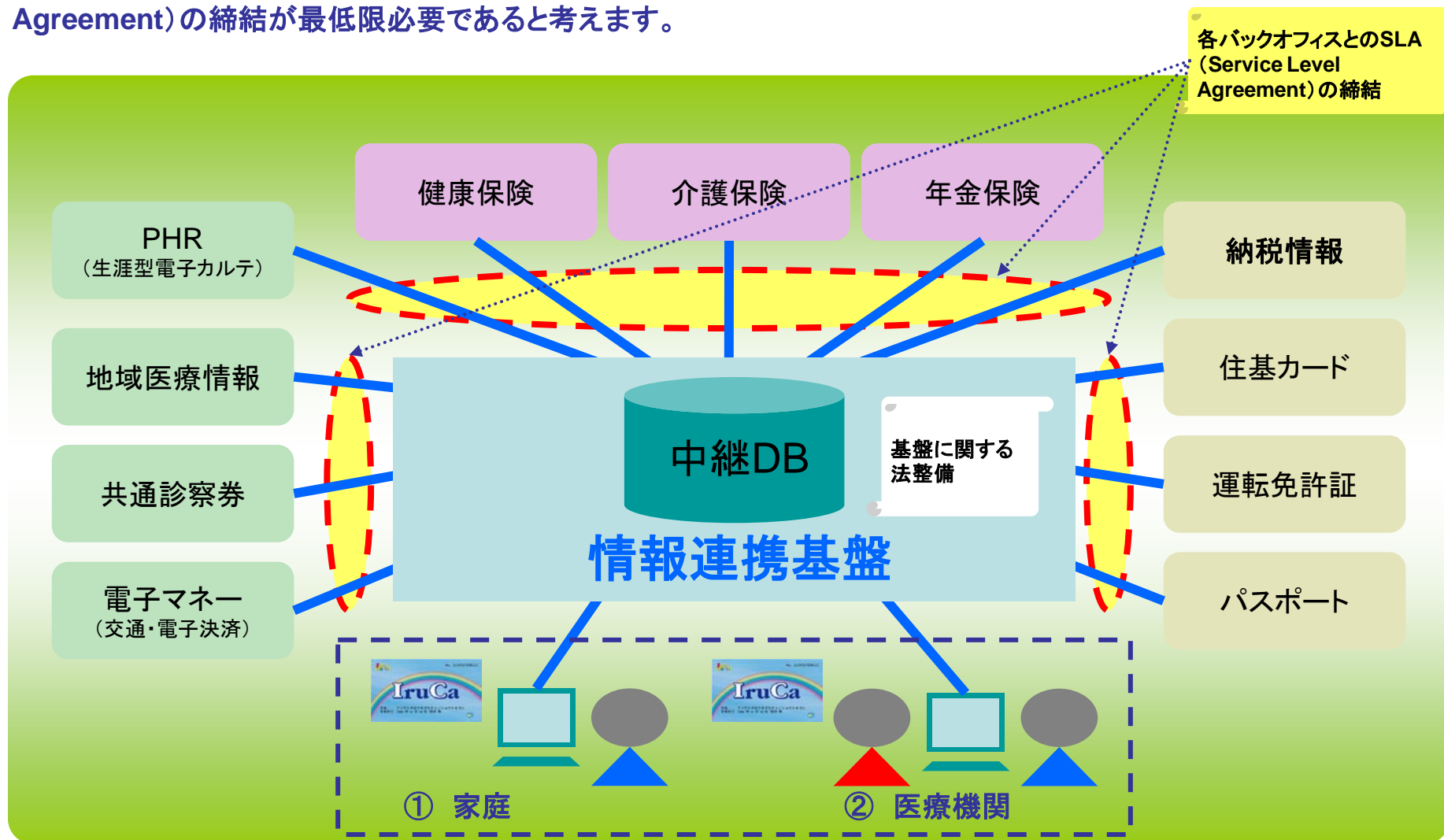
i セキュリティ・チェックシート

項目	内容	確認状況	担当者	日付
1	アクセスログの取得と確認	〇	山田	2023.10.27
2	脆弱性診断の実施	〇	田中	2023.10.26
3	バックアップの検証	〇	佐藤	2023.10.25
4	物理セキュリティの点検	〇	鈴木	2023.10.24
5	人的セキュリティの研修	〇	高橋	2023.10.23



3) 法制度の整備に関して(健康保険制度、介護保険制度、年金制度)

既に各団体内部ルールにて運用されているところへ、情報連携基盤側のセキュリティポリシーを適用させるのは、新たな設備投資や体制作りなど制度導入に対してのインパクトが大きくなると考えられます。オンライン化に伴う各サービス内の法改正等の検討は別途必要ですが、基盤への接続につきましてはSLA(Service Level Agreement)の締結が最低限必要であると考えます。



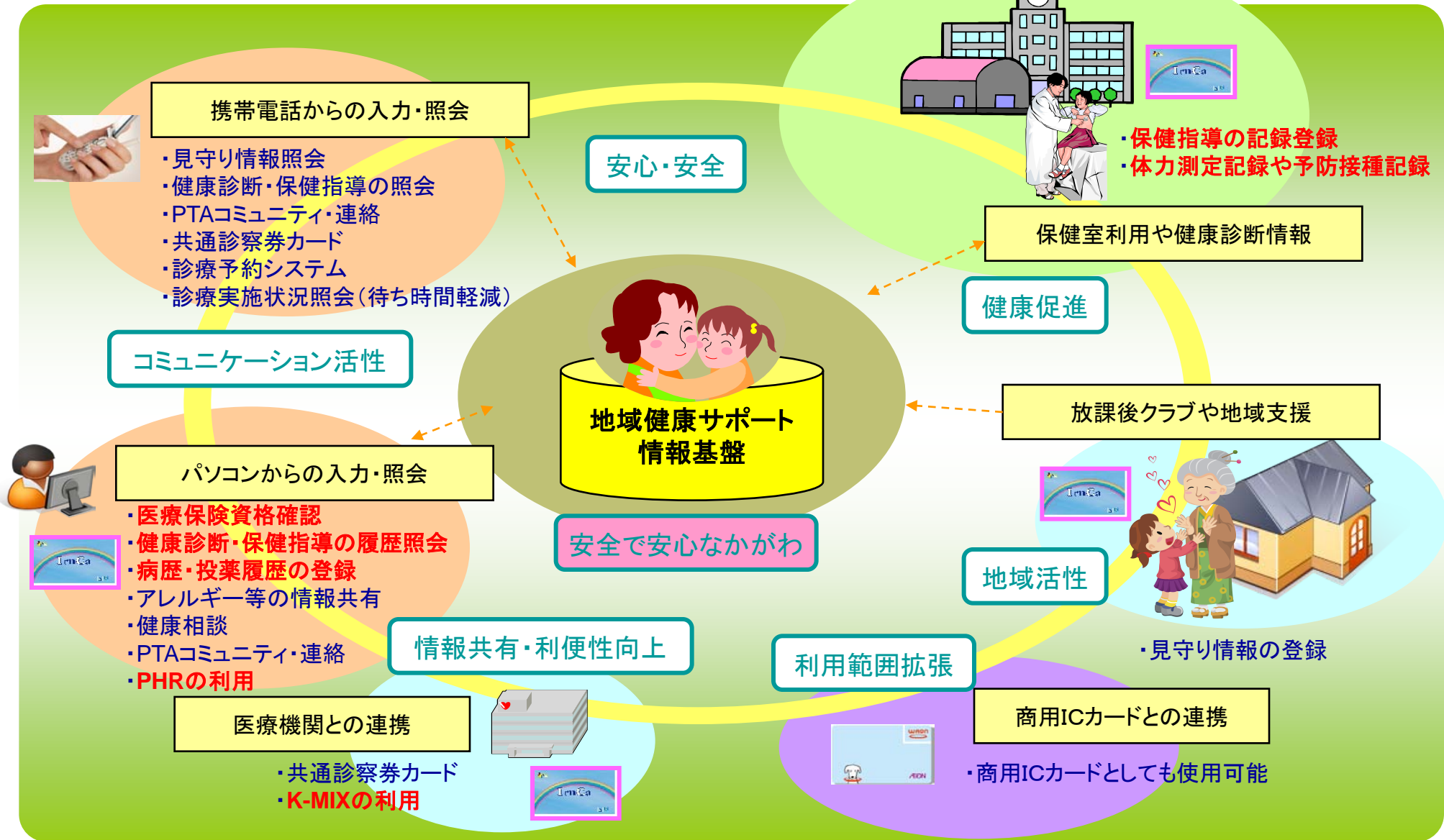
4) 実証事業で確認された問題点・今後の課題(システム構築) ①

	項目	本実証事業における実装状況	問題点・今後の課題
1	医療従事者の認証と医療用端末の識別	医療機関における医療保険資格確認用端末の識別はVPN接続で実施しました。	医療従事者の認証をベースとした、資格確認端末の識別の仕組みの検討が必要となります。
2	医療機関の基幹システムとのデータ連携	医療機関のレセプトシステムや電子カルテシステムと、資格確認用端末の情報連携は未実施でした。	左記基幹システムと、資格確認端末のオンライン接続についての検討が必要となります。
3	電子申請システムとの連携	各バックオフィスサービスとのデータ連携はオフラインメディアを使用し、仮想サーバ(実証サーバ)へ取り込みを行うことでサービスを提供しました。	各バックオフィスサービスとのオンライン連携を実装し、各制度間の電子申請連携についての検証が必要となります。
4	FeliCaでのPKI利用	Felica Pocket+ActiveXによる認証の仕組みを構築しました。	FeliCaがPKI認証の仕組みを実装した際には、本機能の利用について検討する必要があります。
5	サービス拡張に伴う連携追加	サービス追加の場合の追加認証連携に関する機能は未実装でした。	個人特定のために「社会保障と税に関わる番号制度」における共通番号の導入や、各サービス連携の仕組みについての検討が必要となります。
6	OpenSSOの拡張作業	SAML、ID-WSFを実装するために使用したOpenSSOの機能不足を補うためにXMLの拡張やサービス呼び出しの変更作業を実施しました。	SAML+ID-WSFの機能拡張・機能向上への可能性の検討を開発ベンダー等の関係者間で行う必要があります。
7	データ交換規約等の共通化	各バックオフィスサービスとの連携用に独自のデータ交換規約を作成し運用を実施しました。	各サービスとの連携をスムーズにするためには、オンライン、オフラインに限らずデータ交換の標準化が必要となります。
8	生体認証導入の検討	ICカードとパスワード入力による本人認証を実施し、生体認証については未実装でした。	生体認証システム導入の可能性について検討が必要です。

4) 実証事業で確認された問題点・今後の課題(運用・法整備) ②

	項目	本実証事業における実装状況	問題点・今後の課題
1	カードの代理受取と代理利用	カードの受け渡しは、本人限定受取郵便のみで実施しましたが、約1.8%の方が受取が出来ず失効となりました。	カードの受け渡しには、郵送と窓口の併用運用についての検討が必要です。 乳幼児、精神薄弱者、寝たきり高齢者等、本人による対面・郵送何れも受取困難な場合は、法定代理人・任意代理人の受取・代理利用を可能とするような法整備の検討が必要です。
2	安全性と利便性に対する国民へのプロモーション	実証事業の安全性の説明については、募集イベント時は対面で、参加団体については担当経由での書面等によって実施しました。 別途一般の応募者に対しては、コールセンターで各種説明を実施しました。	中継データベースやICカード利用による安全な仕組みや、セキュリティ対策の厳格な実施状況などを容易に理解してもらう為のツールや告知方法の検討が必要です。
3	コールセンター、訪問サービス体制の確立	コールセンター(サポートセンター)を半年間設置し各種問合せへの対応を実施しました。 電話サポートで解決不能な問題については、運営スタッフによる訪問サービスを実施しました。	全国レベルでのコールセンターや訪問サービス体制の構築についての検討が必要です。
4	設備投資に対する助成制度	医療機関への医療保険資格確認には、コンソーシアムより機器・インフラを提供しました。 また一部の施設では、オペレーションのためのスタッフの派遣を行いました。	各施設のインフラ整備や人材確保に対する負荷軽減に繋がる施策として、助成制度の検討などが必要となります。

1) かがわの情報基盤として今後検討していくサービス



參考資料

1) カード発行及びカード受け渡しの仕組み

①券面情報&券面デザイン



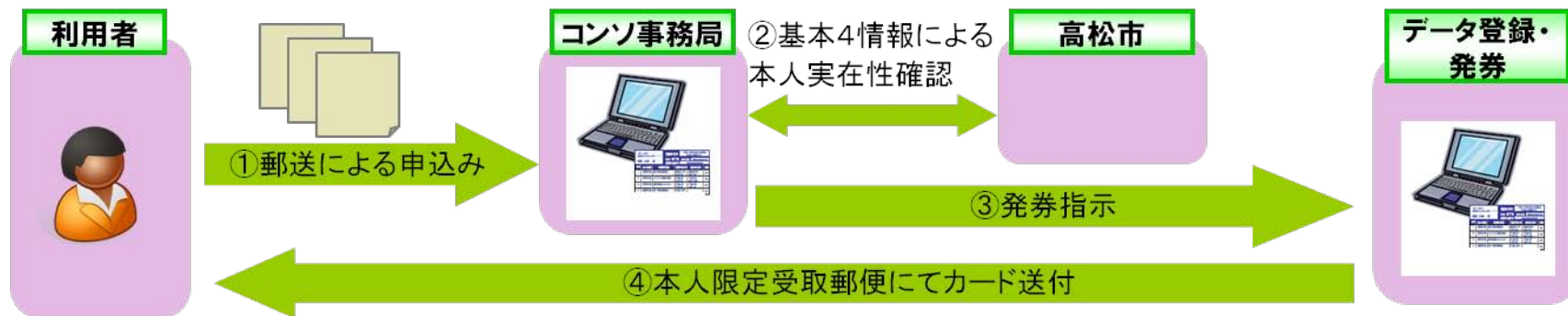
・券面項目:

カナ氏名、生年月日、性別、カード番号

・カード内部には以下の情報のみ保持:

ユーザーID、パスワード、タイムスタンプ、Idm、PIN

②カード発行&本人へのカード受け渡しの仕組み



③本人申請内容の変更&失効時の対応

原則は本人申請と各データ提供機関からの更新情報がトリガーとなり、カードの再発行手続きとなります。紛失などの際はコールセンターにて本人確認の上でカード一時停止・無効処理実施の後、再発行手続きとなります。

2) 個人情報保護方針(参加同意書へ記載)とセキュリティポリシー①

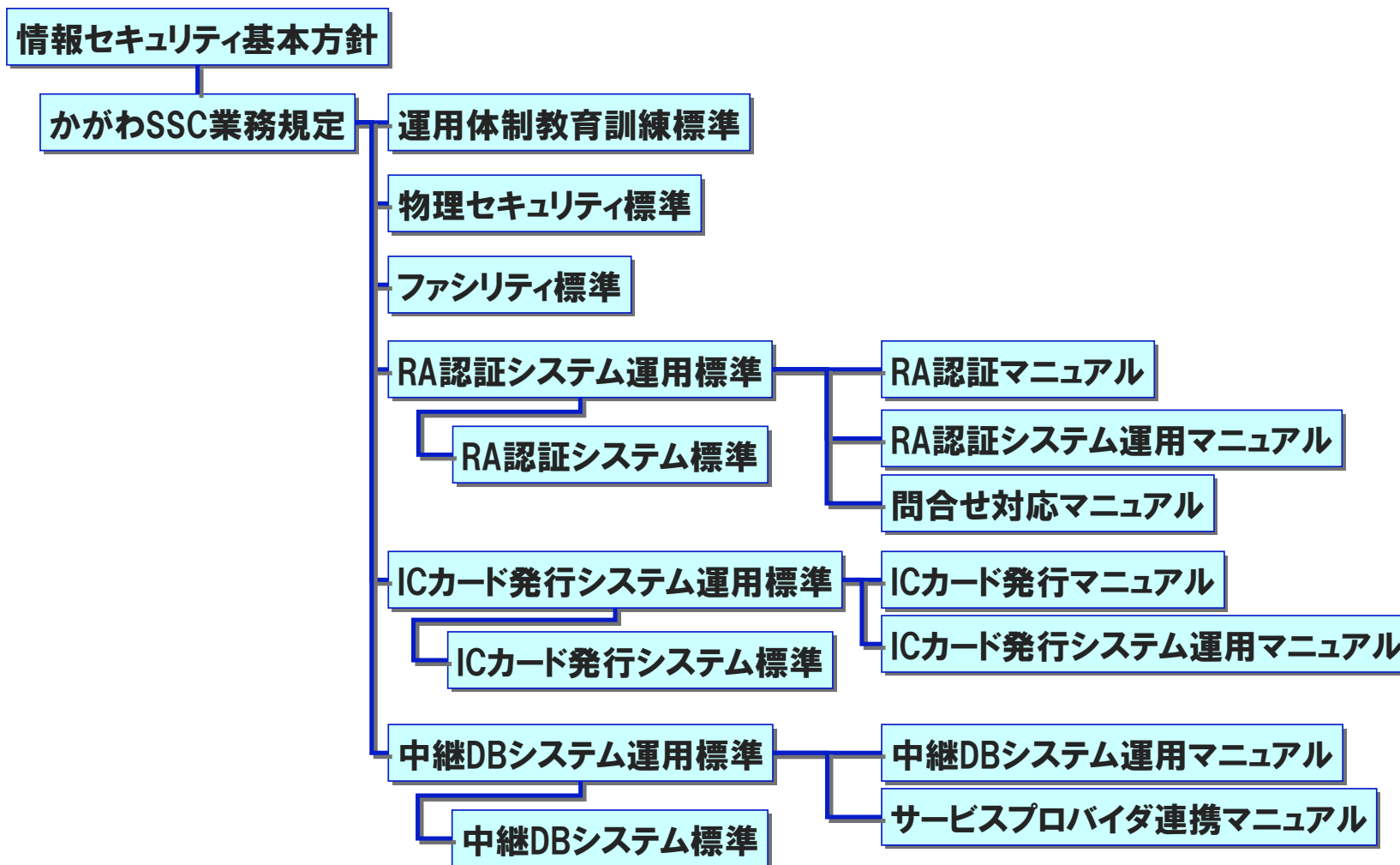
かがわSSCコンソーシアム個人情報保護方針

1. 社会保障カード(仮称)の制度設計に向けた検討のための実証事業(以下、「本事業」といいます。)では、個人情報保護に関する法令・規則および関連指針を遵守し、それらに基づいた規定を定め、実証事業参加者(以下、「参加者」といいます。)の情報を管理することとします。また当該規程は、本事業の展開状況や社会背景等に照らして個人情報保護上の問題点がないことを適宜確認し、継続的な改善を図っていくこととします。
2. 本事業においては、ICカードを活用した参加者の確実な認証により、社会保障分野における本人情報を安全に閲覧して頂いたり、保険資格を確認する等の資格証の役割を果たすことを実証し、併せて、そのような情報基盤を活用した情報サービスを確立するため、閲覧頂くデータの準備および「社会保障カード」を用いた認証に用いる参加者の情報を、本書面により収集します。
3. 本事業の目的を達成するため収集された参加者の個人情報は、本事業においてのみ活用することとし、他の目的に利用されることはありません。また、いつでも本事業への参加の同意を取り消すこともできます。その際には、収集した個人情報は適切な形で消去します。
4. 本事業では、参加者の個人情報を適正に取り扱うために、責任者をかがわSSCコンソーシアムとし、本事業の関係者に対し、継続的な指導を行います。
5. 参加者の個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいを防止し、安全で正確な管理に努めます。
6. 本事業では、事業目的の達成のため、一部の業務を外部の事業者等に委託する場合があります。この際、これらの相手方には信頼のおける事業者等を選択すると同時に、参加者の個人情報が不適切に扱われないような契約を付保するものとします。
7. 本事業では、参加者の求めがあれば、本事業に関する情報、本事業において参加者の情報がどう扱われているかについて開示することとし、取り扱いに関して不適切な点がある場合にはそれを速やかに是正します。また、何らかの理由で開示や是正に応じられない場合にはその理由を説明することとします。
8. 個人情報の取扱いに関するご本人からの苦情及び相談について対応窓口を設置し、適切に対応します。
9. 個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針、その他規範を遵守します。

制定日 2009年11月30日

代 表 ○○ ○○(株式会社○○○○ 代表取締役)
 かがわSSCコンソーシアム高松事務局(株式会社○○内)
 〒761-○○○○
 香川県高松市○○町○○-○○ 香川○○センター○○

2) 個人情報保護方針(参加同意書へ記載)とセキュリティポリシー②



これらの他に厚生労働省、マネジメント団体、その他地域のコンソーシアムにて作成した
“セキュリティ・チェックシート”による運用確認を実施。

3) 参加者と提供サービス内容

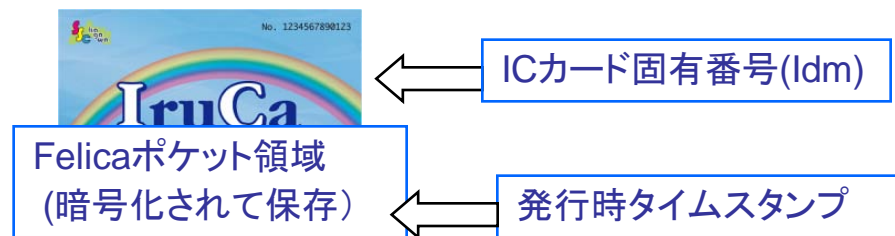
○: サービス提供 -: サービス提供予定なし △: 一部対象(調整中含む) ダ: ダミーデータ表示 ※1: 「国保」とは高松市国保を示します ※2: 「健保」とは今回の実証参加団体/企業の企業健保、 協会けんぽ、共済組合を示します ※3: i、ii、iiiの条件に付加されるシングルサインオン機能		実証参加医療機関	参加者(高松市民)				
			一 国保加入者	二 実証参加企業団体	三 左記以外	付加機能※3	
						PHR参加者	KMIX会員
国保 ※1	①医療保険資格確認(国保加入資格情報照会)	-	○	-	ダ		
	②国保医療記録情報照会	-	○	-	ダ		
健保 ※2	③医療保険資格確認(健保加入資格情報照会)	-	-	△	ダ		
	④健保健康診断結果履歴照会	-	-	△	ダ		
⑤医療機関における医療保険資格確認		○	-	-	-		
⑥年金情報照会		-	ダ	ダ	ダ		
⑦eヘルスケアバンクへのシングルサインオン(PHR)		-	-	-	-	○	
⑧かがわ遠隔医療ネットワークへのシングルサインオン(K-MIX)		-	-	-	-		○
⑨電子マネー機能		△	○	○	○		

4) 本人識別の仕組み

1. 利用者本人の一意性



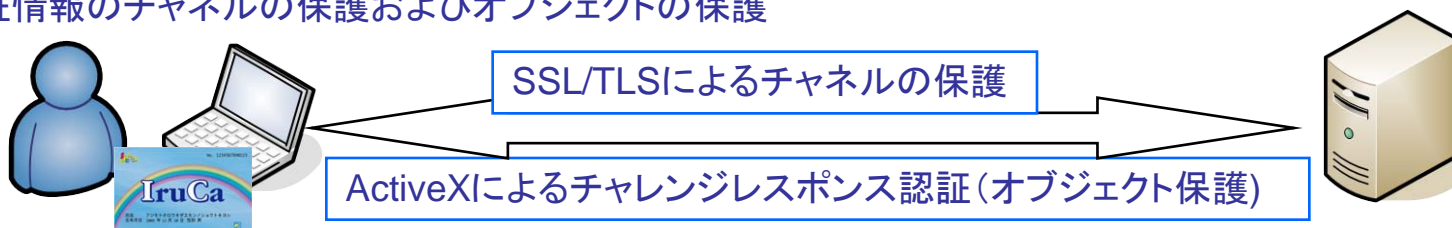
2. カードの一意性



3. 本人がカードを利用していることの担保

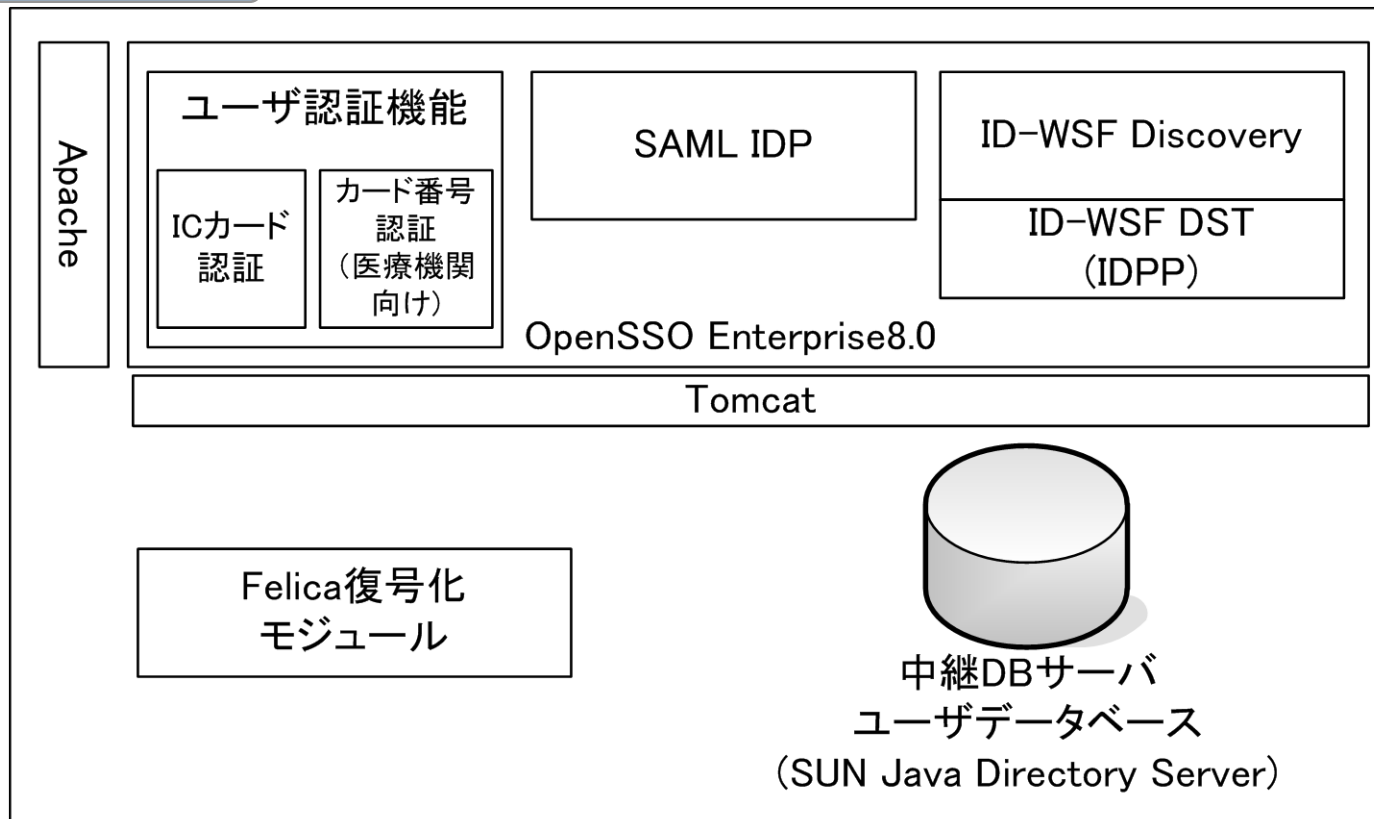


4. 認証情報のチャンネルの保護およびオブジェクトの保護



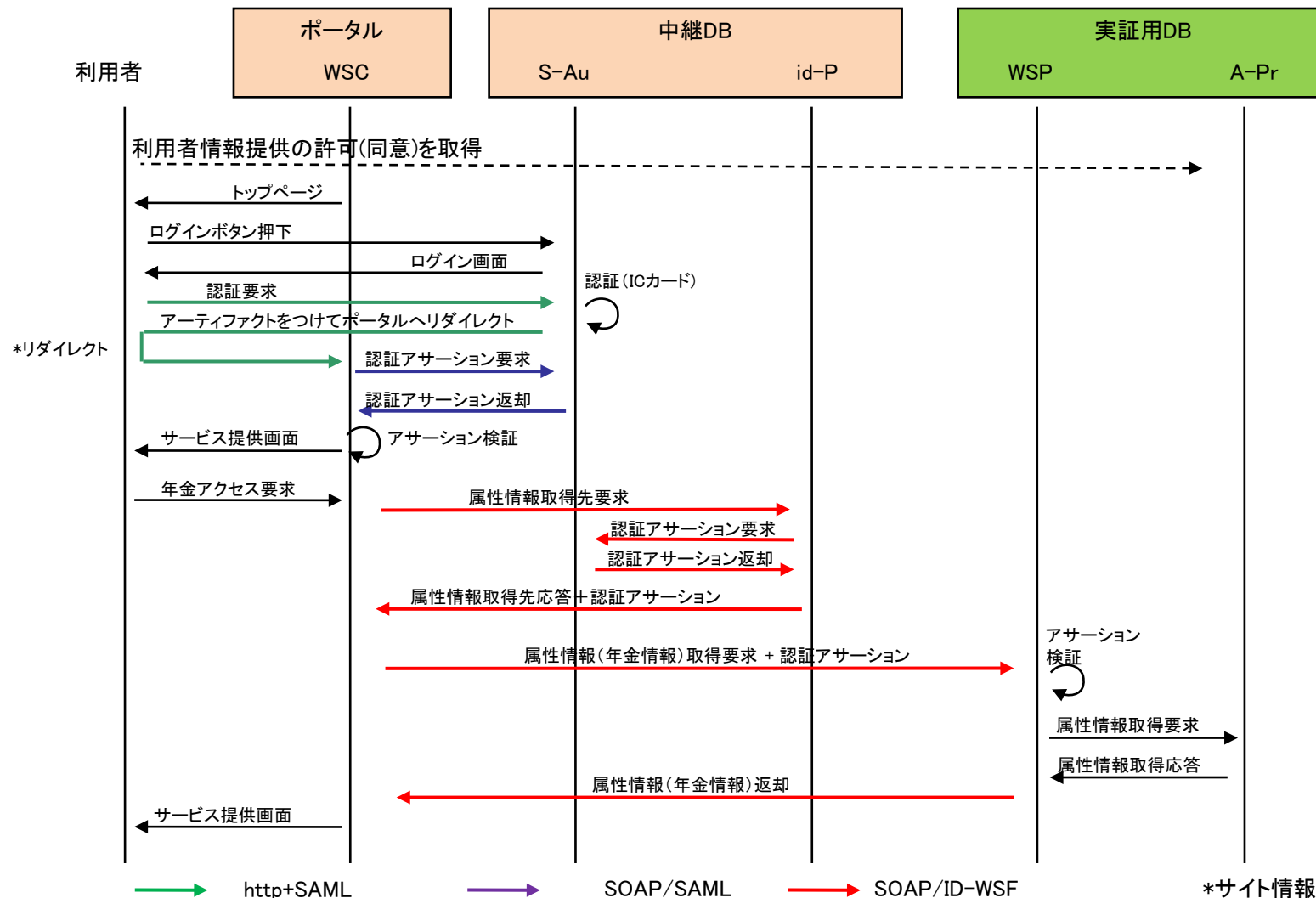
1. 利用者本人の一意性の担保: 十分な長さや強度をもつID/パスワードをFelica ポケット領域に暗号化された形で保存
2. カードの一意性の担保: ICカード固有番号 (Idm)と発行時タイムスタンプを保有することで一意性を担保
3. 本人がカードを利用していることの担保: ActiveXを用いてカードPINを実装
4. 認証情報のチャンネルの保護とオブジェクトの保護: ActiveXを用いてSHA-256によるチャレンジレスポンス認証を実装するとともに通信経路はSSL/TLSで保護

5) 中継データベースの構成



- システム全体の中で利用者PCからのリクエスト中継とその認証・連携を主な機能としています。利用者を認証するための方式としてSAML認証方式を採用し、SAML認証下において利用者のIDと属性情報とを連携する方式としてID-WSF認証連携を採用しました。
- 中核となる「中継データベース」には利用者のIDと各サービス提供者(実証サーバ)とのアカウント連携のための仮名を設定(フェデレーション)し、Webポータルが認証下でのリクエストを実証サーバに送出できる環境を提供していました。
- また、利用者PCとWebポータル/中継DBデータベースは直接的な接点となることから、通信経路上のセキュリティ確保やインターネットからの不正アクセス対策、ウイルス対策についても対策を講じました。

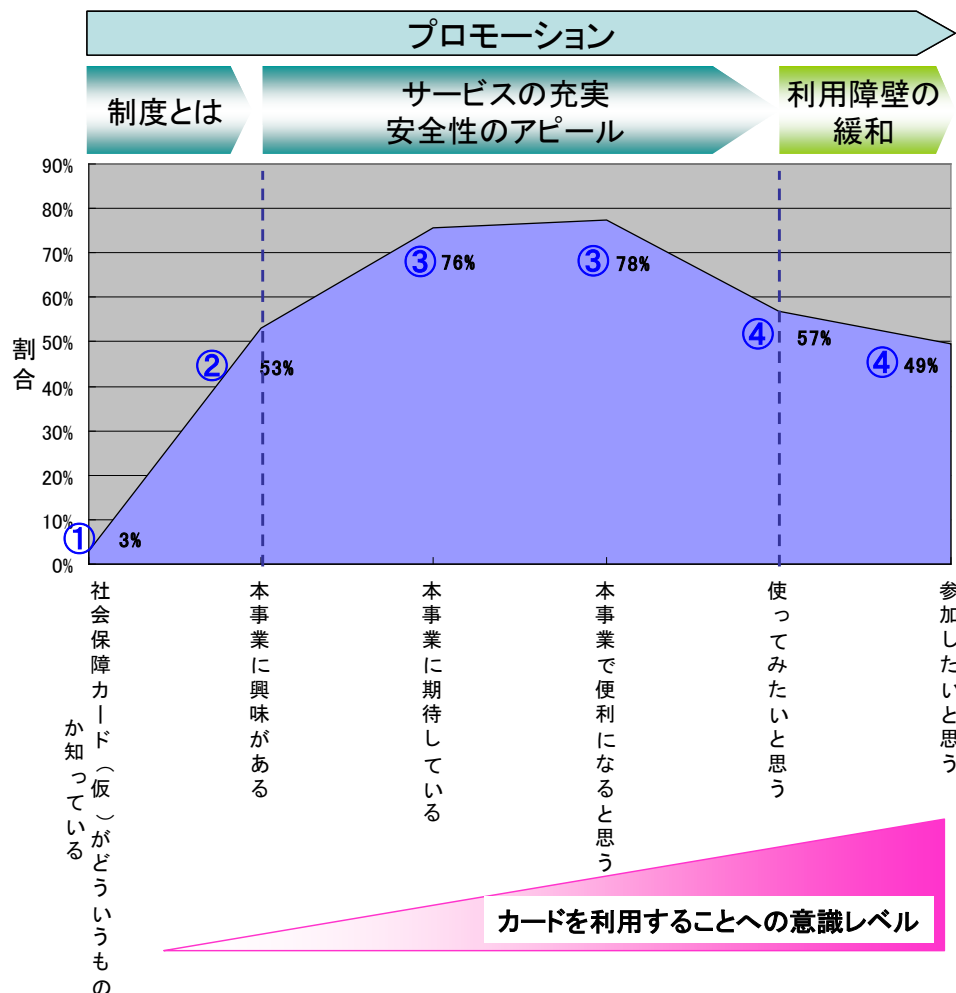
6) SAML&ID-WSFの実証に際して残された課題



現時点のOpenSSOでは、これらを構成する技術基盤には**必要最低限の機能しか整備されていない**ことが分かりました。特にID-WSFについては市場での十分な普及に至っていないこともあり、**かなりの拡張作業が発生するという課題**があります。

7) 本制度への意識レベルとプロモーション活動(アンケート結果⑪)

※ 募集イベント時アンケート



① 本制度の認知度

社会保障カード(仮称)について「聞いたことがある」というのが13%、更に内容を知っている人はそのうちの20%なので、“認知度”は国民全体の約3%弱であると考えられます。

② 本制度への興味・関心度

制度の概要説明を行った後の調査で「興味がある」という“興味・関心度”に当たる数値は、357人中189名の約半数で53%でした。今回の方法では1人1人に対面で説明を加えるというスタイルを取りましたが、制度に対する説明の時間があまり確保出来なかった点を踏まえ、興味・関心度を上げる為の施策改善の余地はあります。

③ 本制度の必要性

本制度への期待感・利便性といったユーザの必要度に関する質問の結果は「本事業に少しでも期待している」以上が297人中224人の76%、「本事業で便利になる」が78%と非常に高いですが、“あれば便利”から“絶対に必要”のレベル感の違う意見が混在しているものと考えられます。

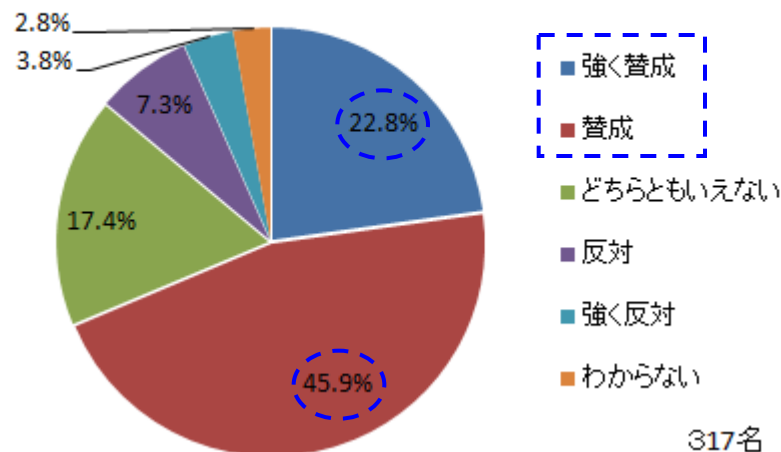
④ 制度への参画意識

③本制度への期待感・利便性の結果と比較しても「サービスを使ってみたい」という回答は289人中164人の57%、「参加したい」は287人中142人の49%と低くなり、セキュリティ面の不安除去や利便性の更なるアピールなど、利用障壁の緩和策が必要であると考えます。

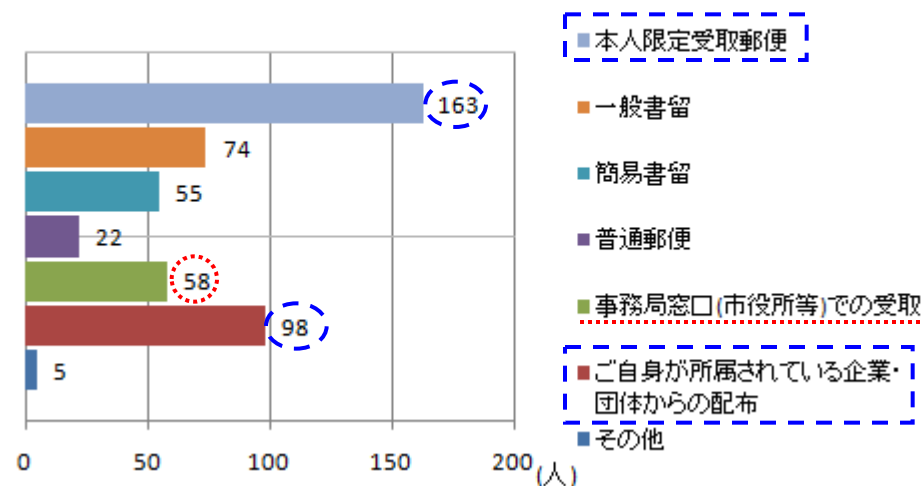
8) 郵送方法について(アンケート結果⑫)

※ 参加者のご意見

【問16】カードをお渡しするのに今回のように本人限定受取郵便を使用することについてどう思われますか？



【問17】受取方法が選べるとするとどの方法がよろしいですか？



カードの交付に対するアンケート調査では、68.7%が本人限定受取郵便を使うことに賛成ということでした。またカードの受取方法について、郵送手段では本人限定受取郵便が316人中163人と過半数となっており、窓口等での対面手段では職場からという意見が98人で31%、市町村での受取りは58人で18%にとどまりました。

この傾向から、わざわざ窓口に出向くという手間よりも郵送や職場を通じてカードを持ってきてもらう方が要望として多いことが分かりました。

本実証では669名中12名が本人限定受取郵便での再送を繰り返しても受取りがなされず、カード失効となった結果を踏まえますと、郵送だけでなく窓口等別手段での交付が必要であると考えます。